

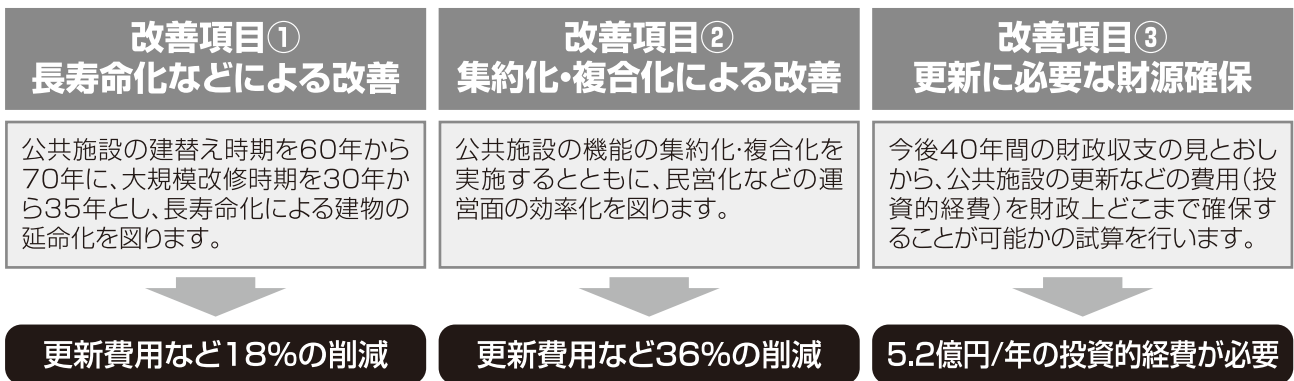
公共施設あり方検討の取組みをお知らせします⑥

市内の公共施設は、経年による老朽化、市民ニーズの変化など、さまざまな課題を抱えています。かぎられた財源、資産をより有効に活用していくため、「高浜市公共施設あり方計画」の策定を進めています。

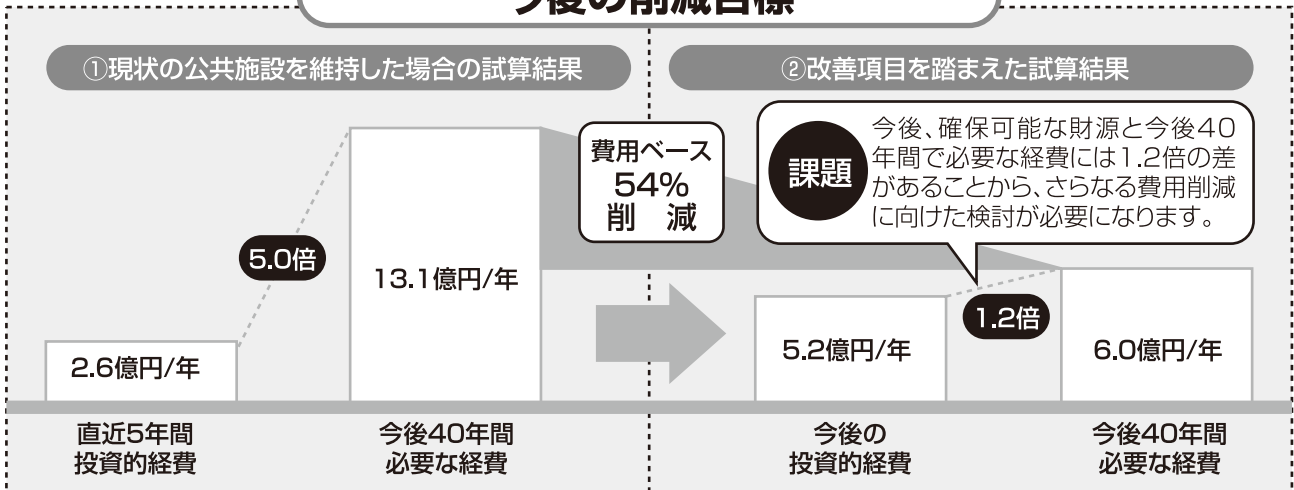
今回は、平成24年度に高浜市公共施設あり方検討委員会より提出された、公共施設の総量圧縮、機能移転などをふまえた複数の改善案を取りまとめた「公共施設改善計画(案)」で示されている、公共施設の3つの改善項目および今後の更新費用などの削減目標をお知らせします。

… 公共施設の更新費用などの削減に向けた数値目標の考え方 …

白書では、現在保有している公共施設をすべて更新すると仮定した場合、今後40年間で更新などに必要とする費用の総額は522.5億円(年平均13.1億円)と試算されています。これまでに示した公共施設マネジメント基本方針、公共施設改善計画(案)の改善案に基づき、現状のサービスの水準を維持したうえで、今後の更新費用などをどの程度まで削減ができるかを、以下の3つの改善項目を踏まえ、高浜市の公共施設の今後の削減目標を示します。



「公共施設改善計画(案)」でめざす 今後の削減目標



削減目標：費用ベースで54%の削減をめざします

これまで全6回にわたり、公共施設あり方検討の取組みについてお知らせしました。

公共施設あり方計画は、公共施設マネジメント基本方針、公共施設改善計画(案)および現在策定中の公共施設保全計画の3つの計画で構成され、今後の市の財政運営に大きな影響を及ぼす将来計画です。また、この計画は今後40年間という大変長期にわたる計画であることから、今後の社会情勢や利用者ニーズに合わせて実状に応じた見直しも必要となります。

今後、市民の皆さんと情報や問題意識を共有しながら、公共施設あり方計画の取りまとめ・見直しを進めます。